

しむかつぷ

ぎかいだより

No.182

2025年 5月号
(令和7年)



占冠中央小学校



トナム学校(前期課程)

第1回 定例会

宿泊税条例を可決 ～2026年4月導入へ～

📷 今月の表紙 『ピカピカの新1年生!』

4月7日(月)に行われた占冠中央小学校・トナム学校(前期課程)入学式の1コマ。みんな素敵な笑顔です!



≪ 議会広報や議事録全文は
村ホームページでご覧になれます。 ≫

- 第1回定例会 p 2
- 村長の行政報告 p 4
- 村政執行方針質疑 p 5
- 教育行政執行方針質疑 p 9
- 予算特別委員会 p11
- 一般質問 5議員 p15
- 議員の主なうごき p20

～2026年4月導入へ～ 、議員報酬を改定

令和7年 第1回定例会

- 会 期 3月6日から14日まで（9日間）
- 一般質問 5議員
- 審 議 条例、令和6年度補正予算、令和7年度予算など計31件をすべて原案どおり可決
- 傍 聴 6日…1人 7日…0人 11日…0人 14日…1人

条例の制定・一部改正

▼占冠村犯罪被害者等支援条例の制定

万が一犯罪被害者になってしまった方や、その遺族に対し、相談窓口の設置や見舞金の支給などの支援に関する基本的事項を定めるものです。

質疑

問 下川議員

本条例の住民に対する周知や啓蒙方法、相談窓口の設置体制について伺います。



岡崎福祉子育て支援課長

住民周知は広報等で定期的に行います。相談体制については各種相談対応のノウハウを有する社会福祉担当を窓口

とし、警察との連携を図りながら相談者に十分配慮して進めていきます。

▼占冠村宿泊税条例の制定

持続的に観光振興に取組む費用に充てることを目的に、村内の宿泊者に対し法定外目的税である宿泊税を課するものです。

質疑

問 木村議員

本村が導入しようとする段階的定額制よりも定率制の方が多額の税収が見込まれ、北海道も定率制を認めているにもかかわらず、なぜ段階的定額制を導入しようとしているのか。

また、道宿泊税と村宿泊税は課税主体が違うにもかかわらず、村長が道宿泊税の滞納処分等の行政処分を行うことは、課税管轄権の侵害に当た

らないのか伺います。



平岡企画商工課長

協議会や事業者の意見を踏まえ、宿泊事業者の徴収事務に係る負担を極力減らすこと、徴税コストが大きくならず、簡素で分かりやすい制度とすることを総合的に勘案し、北海道と合わせて段階的定額制とするものです。

また、道宿泊税については村が北海道から委任を受けて賦課徴収を行うため、課税管轄権の侵害には当たらないと考えます。

反対討論

木村議員

合宿やビジネスなど観光とは無関係な宿泊にも一律に税を課すことは、著しく公平性を欠くものです。

今、宿泊業界は諸物価高騰に苦しみ中、集客のため懸命の努力をしており、宿泊税による宿泊料金上昇は誘客のマイナス要因となり、業界に障害を与えることから本案に反対します。

賛成討論

小林議員

宿泊税の収入見込額は年間7,400万円と推測され、令和5年度普通交付税額の約6%に相当します。

従来観光振興に充てられていた一般財源を新たな施策に充当でき、村づくりの振興、村民の福祉向上に寄与するものと考えられるので、本案に賛成します。

賛成討論

藤岡議員

本村において自主財源の確保は大きな命題であることに加え、導入に当たり関係者との度重なる議論を重ね、同意が得られています。

導入当初は事業者の戸惑い等も予想されますが、村の観光振興を進めるためにも大いに推進すべきであり、本案に賛成します。



※採決の結果、賛成6、反対1により原案可決

宿泊税条例を可決 常勤特別職給与

▼刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

刑法等の改正に伴い、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、新たに「拘禁刑」が創設されることから、関係条例の整理を図るものです。

▼占冠村税条例の一部改正

国が進めている税務システムの標準化に対応するため、個人住民税の納期を3期から4期に、固定資産税の納期を2期から4期に改めるものです。

▼占冠村国民健康保険税条例の一部改正

賦課限度額及び軽減基準額を見直すほか、令和12年度 of 全道統一保険料に向け段階的な税率変更を行うものです。

▼占冠村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

占冠村特別職報酬等審議会の答申に基づき、村議会議員の報酬を改正するものです。

反対討論

藤岡議員

本来、議会改革を目的とし、中身を精査・議論し、改正に

至るべきものですが、残念ながら議会改革に向けての目的に向かっていないものではないでしょうか。

村民から見たら単なる物価高騰による引上げであり、議員に対する批判は免れないため、本案に反対します。

※採決の結果、賛成6、反対1により原案可決

▼特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正

占冠村特別職報酬等審議会の答申に基づき、特別職（村長・副村長・教育長）の給料を改正するものです。

反対討論

藤岡議員

本村特別職の給与水準は道内的にも高いことは十分承知していますが、インフラの老朽化、物価高騰などの諸情勢に鑑みると、今やるべきものではないと感じます。

引き続き財源の確保に努力し、その経過を見て改正に踏み切るべきと考え、本案に反対します。

※採決の結果、賛成6、反対1により原案可決

議員報酬、特別職給与の改正内容(月額)

	現 行	改 正 後
議 長	225,000円	251,000円
副議長	170,000円	196,000円
議 員	140,000円	169,000円
村 長	648,000円	705,000円
副村長	562,000円	584,000円
教育長	539,000円	549,000円

▼占冠村職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴い、一般職の扶養手当、通勤手当等を改正するものです。

▼占冠村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

引用する給与条例の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

▼特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

選挙長、投票及び開票管理者（立会人）等の報酬の額を改正するものです。

▼占冠村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

育児介護休業法の一部改正に伴い、育児・介護を行う職員に対する措置等を見直すものです。

▼占冠村有償旅客自動車運送事業の設置及び管理に関する条例の一部改正

村営バス（富良野線）の停留所の名称及び一部区間の運賃を変更するものです。

▼占冠村簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部改正

法令の改正に伴い、水道事業の布設工事監督者等の資格要件を改正するものです。

▼占冠村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

▼占冠村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

いずれも国が定める基準等の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

▼占冠村保健事業検診受診料徴収条例の一部改正

検診機関における検診受診料の改定に伴い、乳がん超音波検査及びピロリ菌検査の受診料を改正するものです。

令和6年度補正予算

〔一般会計 第8号補正〕

問 小尾議員

法人村民税法人税割の2,545万円の減額理由、普通交付税の3,022万円の増額理由を伺います。

三浦総務課長



法人税割の減額はトマム地区のリゾート運営会社の組織変更に伴うもの、普通交付税の増額は人事院勧告に伴う人件費の増額や物価高騰によるものと推測されます。

問 木村議員

林業担い手対策に係る奨励金、補助金が大幅な減額

であり、予算と実績の乖離に対する見解を伺います。

杉村林業振興室長

新規就労者数や就労日数などの要素による実績に基づいて交付するものであり、結果として予算の減額に至りました。

問 下川議員

公設学習塾委託料165万円減額の理由を伺います。

木村教育次長

1学年が欠けたことによるものです。

【歯科診療所会計 第2号補正】

問 木村議員

診療報酬収入が当初予算比で4分の1程度減額されており、異常な状態と思われるが見解を伺います。

伊藤住民課長

受診者数の減少が大きな要因であり、今後においては口腔ケアの重要性に関する啓蒙に力を入れるなど、歯科検診から診療につながる取組に努めます。

発議

▼占冠村議会個人情報保護条例の一部改正

マイナンバー法及び刑法の改正に伴い、所要の改正を行うものです。

意見書

▼持続可能な学校の実現を目指す意見書

持続可能な学校の実現と子どもたちの豊かな学びの保障のため、学校の長時間労働は正に資する政策実行を求める意見書を採択し、関係機関に送付しました。

令和6年度 補正予算

一般会計(第8号) …………… 320万円増
総額 30億2,620万円→30億2,940万円

・財政調整基金積立金 …………… 330万円増
・ふるさと納税寄附者贈呈品 …………… 600万円増
・ふるさと納税サービス利用料 …………… 220万円増
・福祉基金積立金 …………… 4,000万円増
・村道除雪委託料・機械等借上料 …………… 740万円増など
・執行予算残の整理による減額など

国民健康保険(第4号) …… 250万円減
総額 1億4,150万円→1億3,900万円

・執行予算残の整理による減額など

村立診療所(第2号) …………… 30万円減
総額 8,390万円→8,360万円

・執行予算残の整理による減額など

後期高齢者医療(第2号) …… 60万円減
総額 2,240万円→2,180万円

・執行予算残の整理による減額など

歯科診療所(第2号) …………… 20万円減
総額 2,290万円→2,270万円

・執行予算残の整理による減額など

簡易水道(第3号) …………… 207万円減
収益的支出総額

1億3,409万8,000円→1億3,202万8,000円

・執行予算残の整理による減額など

公共下水道(第4号) …… 232万7,000円減
収益的支出総額

1億575万3,000円→1億399万2,000円

資本的支出総額

6,096万5,000円→6,039万9,000円

・執行予算残の整理による減額など

※簡易水道、公共下水道については歳入と歳出の総額が異なるため、歳出総額を記載しています。

トマム地区移動駐在所について



村長の行政報告

トマム駐在所の設置は地域の願いであり、地元有志から駐在所用地の無償提供もいただいていることなどについて、関係機関へ説明しながら要望活動を続けてきたところですが、1月より試験的に、トマムコミュニティセンター内を事務所として駐在所業務を開始しました。

駐在所は日や駐在所時間は、予期せぬ事件・事故等により変動することもあります。が、概ね月2回、9時から16時となっており、トマム地区移動駐在所は、これまで実現できなかった駐在所誘致に向けての大きな一歩であると捉えています。トマム駐在所の設置に向けて更に一歩進めるため、どのような取組が有効なのか検討し、昨今の情勢なども訴えながら誘致へつなげてまいります。

村政執行方針質疑



主な施策

1 持続可能な地域づくり

1 未来を拓く村政

- (1) 地方自治・地方創生の推進
- (2) 教育環境整備の推進
- (3) 防災・災害対策の推進

2 経済循環が図られる基幹産業の振興

- (1) 農業
 - ① 酪農・畜産
 - ② 畑作振興
 - ③ 担い手対策
- (2) 林業
 - ① 村有林の管理・経営
 - ② 私所有林の育成支援
 - ③ 林業事業体への支援
 - ④ 林業の六次産業化
- (3) 商工・観光・労働
 - ① 商工振興
 - ② 観光振興
 - ③ 双民館
 - ④ 労働

3 地域特性を生かした集落対策、移住・定住・関係人口の拡大

- (1) 移住・定住
 - (2) しむかつぶ・村づくり
- 寄附金と企業版ふるさと納税

2 安全で安心な暮らしを守る基盤づくり

1 暮らしの基盤づくり

- (1) 道路
- (2) 村営住宅
- (3) 上下水道
- (4) 環境衛生
- (5) 地域交通
- (6) 地域協働への取組
- (7) 防災対策

2 地域医療の充実と住民ニーズに即した福祉施策

- (1) 高齢者福祉
- (2) 地域福祉・障がい者福祉
- (3) 保健・医療
 - ① 保健予防
 - ② 母子保健
- (4) 国民健康保険事業
- (5) 村立診療所及び歯科診療所

3 未来を託す子どもの環境づくり

1 子ども家庭センターの設置と子育て支援の充実

2 学習環境の整備

3 特色ある教育

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。

藤岡 幸次 議員

1 双民館の管理体制

問 「指定管理者の応募がなかったため、今年度は村直営で管理を行う」とのことですが、会計年度任用職員員の雇上げ等、管理体制に目途が立っているのか伺います。

田中村長

前指定管理者が雇用していた臨時職員の雇上げにより、草刈り等の環境整備に努めてまいります。

2 村の財政状況

問 経常経費の増大と基金残高の減少が課題となっておりますが、インフラ整備、福祉、防災等財政支出が目白押しにある中で今後の財政の方向性について伺うとともに、公債費の償還計画はどのように把握されているのか伺います。

田中村長

物価高騰、人件費の増加等の影響で経常経費が毎年増えており、財源不足を基

2 林業六次産業化の支援

問 木質バイオマス生産組合からメープルシロップ事業を継承する地域おこし協力隊員の起業に対する、具体的な支援策について伺います。

田中村長

本年度は生産拠点でありますシュガーハウスの整備、樹液採取地の提供等を行うとともに、今後3年程度はメープルシロップの製造事業を委託することで支援をしていきます。

3 道の駅周辺整備事業

問 令和6年度に行われた調査内容を伺うとともに、整備事業の実施にあたっては村民の声を反映できる検討委員会のような組織を立ち上げる予定はあるのか、また、事業実施に向けたロードマップは決定しているのか伺います。

田中村長

地形測量、概略設計を行うとともに、国道からの出入りや駐車場内の通行方法

を検討し、最適な案を抽出いたしました。

事業内容が固まる前に住民の皆さんと情報共有し、ご意見を伺いながら検討を進めてまいります。

スケジュールとしては、令和7年度で関係機関との用地確定・買収等があれば進め、補助金や起債等の財源確保に向けた協議が整えば早い時期での着工となりますが、先に延びる可能性もあると思っています。出入口の道路系は早い時期に実施したいと考えています。



整備が待たれる道の駅周辺

4 こども家庭センター

問 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の両機能を維持した上で、新たにこども家庭センターが設置されます。

両機能を維持するのであれば職務が増えるように感じますが、職員数などの体制はそのまま新たな組織に移行する考えなのか伺います。

田中村長

現在、こども家庭センター設置要綱の策定準備を進めています。

4月1日付けで、村機構図を見直す予定ですが、設置によって増員とはならないため、当面は内部でやりくりしながらスタートを切りたいと考えています。

大谷 元江 議員

1 予防接種への助成



問 「感染症の発症あるいは重症化を防ぐため、予防接種に対する費用助成を行う」とありますが、助成後の自己負担額はどのくらいになるのかを伺います。

田中村長

課税所得者における自己負担額については、帯状疱疹ワクチンが6,000円、水痘ワクチンが1,500円、新型コロナウイルスについては、定期接種対象者2,600円、任意接種対象者6,000円となります。

2 移住定住対策

問 マイホーム奨励事業による個人住宅の取得促進に関し、奨励金の額を伺います。

田中村長

個人住宅については定住促進条例に基づいて助成しており、マイホーム新築奨励金として現金50万円、マイホーム継続居住商品券として20万円、マイホーム取得奨励商品券として固定資産税額の3年分を助成しております。

3 水道施設の老朽化対策

問 水道管の老朽化に伴う陥没事故が報道されています。本村でも50年以上経過する水道施設があると思いますが、そのような施設・配管等の改修計画があるのか伺います。

小林建設課長

中央地区の老朽化した水道施設（配水池、水源池、配水管等）の改修を検討しており、令和7年度で基本計画を策定します。

改修の実施時期につきましては財源の問題もありますので、財政担当と協議しながら進めてまいります。

4 給食費の増額改定

問 増額改定にあたり保護者負担の増加はないとのことですが、増加分は全額村が負担するのか伺います。

田中村長

1食40円の値上げが広域連合議会で可決されました。増加分は村が広域連合に補助する形で取り扱う予定です。補助額は41万円程度です。

見込んでいます。

下川 園子 議員

1 観光業に対する支援

問 インバウンドの増加による新たな需要に応えるための必要な支援策について、具体的にどのような想定をされているのか伺います。

田中村長

現時点で具体的な支援策は持ち合わせておりませんが、事業者や関係者と連携をしながら需要の把握を行った上で、効果的な支援を行いたいと考えています。

2 林業六次産業化の支援

問 木質バイオマス生産組合の生産性を高めるための施設整備等の支援として、新割り機の購入が挙げられています。その他の支援について計画があれば伺います。

田中村長

現在、薪生産体制の在り方などを協議しており、結

論が得られ次第、議員と情報共有を図り、必要があれば6月議会に議案等を提出して対応する考えです。

細谷 誠議員

1 防災環境整備計画



問 「近年の異常気象の影響下にあつて地域防災力を高め、様々な自然災害に対応できる環境整備を図る」とありますが、過去のデー

タに基づく防災環境整備計画はあるのか伺います。

田中村長

占冠村地域防災計画は昭和2年以降の主たる災害の記録を蓄積しており、過去の災害履歴を踏まえた計画となっています。

今後、防災計画に定めるものの他、避難所運営マニュアル、在宅・車中泊避難者等の支援の手引き、占冠村災害時受援計画等に基づき対応してまいります。

2 農業担い手対策

問 「農業委員を中心に作成された農地の目標地図に基づいて策定した地域計画の素案を農地所有者や農業経営体に説明した」とありますが、その内容について伺います。

田中村長

10年後の土地利用について、個別聞き取り、耕作者の協議により目標地図を作成し、それに基づき地域計画を策定しました。ともにスタートアップ目標地図、地域計画となっておりますので、今回の策定を起点に

地域内での議論を加速させてまいります。

3 私有林の育成支援

問 自伐型林業施策などを取り入れ、皆伐ではなくて小さな重機を用いた小規模な間伐、植林、小規模林道による搬出、そこから生まれる多面的機能を後押しした馬搬、森林セラピーを活用したアクティビティなど、観光につながるような施策は考えられないのか伺います。

田中村長

自伐型林業は、皆伐を選択することなく、間伐を繰り返す特徴があります。本村では、伐期に達した人工林において皆伐を主体として、高性能林業機械を導入した事業地の集約化を図ろうとしています。私有林での自伐型林業を否定するものではなく、森林に対して多様なアプローチがあつて良いと考えております。

4 地域おこし協力隊の活用

問 「地域おこし協力隊制

度を活用し、さらなる観光事業の推進に努める」とありますが、具体的に協力隊に求める内容と目指す事業を伺います。

田中村長

村の観光情報の収集と発信、村の観光資源の開発、掘り起こし、イベントの企画運営、観光誘致、観光客誘致促進に向けた企画立案、観光プロモーション事業の実施、それから観光協会との管理運営業務、その他観光協会の目的達成に必要な業務などが主な内容です。

5 自主防災組織への支援

問 自主防災組織に対し、どのような支援を考えているのか伺います。

田中村長

自主防災組織の設立を検討している行政区への相談対応や規約作成などの事務的なお手伝い、自主防災組織で実施する防災訓練における説明、実演講習、講義などの支援、財政的な支援を行つてまいります。

6 トムム地区における村立診療所・歯科診療所の診療体制

問 トムム地区は外国人従業員とインバウンド需要が大きく伸び、診療日数及び対応に不満が寄せられていると聞いています。

歯科診療所に至っては、隔週1回の診療と医療崩壊とも言える状況です。

トムム診療所の医師常駐、歯科診療所の医師派遣など、改善策が住民が安心して暮らし続けられる持続可能な医療体制につながるかと考えますが、考えを伺います。

田中村長

トムム診療所や歯科診療所へ医師を配置し、より身近で地域住民に医療を提供することが望まれています。が、医師や医療従事者の配置には多額の財政出動を伴うことから、慎重に検討する必要がありますと認識しております。

地域交通等を含め、しっかり受診できる方向を示してまいります。



行政区合同防災訓練(令和6年8月3日)

木村 一俊 議員

1 離農対策

問 本村では高齢化や後継者不在による離農が起こっています。農地を守ること、大事ですが、牛の頭数をいかに留めるかが重要だと思いますが、村長の見解を伺います。

田中村長

離農者にあつてはそれぞれの事情がありますが、牛の頭数確保の観点では、販売できるものは販売をし、肥育する牛は他の農業者に譲ってもらうなどの対応をいただいています。増頭を計画している農業者もいますので、これらのバランスを考慮しながら、飼育頭数を大きく減少させないように農業政策を進めていくということが大事だと認識しています。

2 村の経済活性化

問 道東自動車道4車線化工事により関係人口の増加が見込まれ、経済活動の活

性化が期待されていますが、村の現状を見ると、昼食を食べる店がない、仕事終了後に憩える場所もない。それで果たして、経済活性化が図っていただけるのかどうか、村長の認識を伺います。

田中村長

中央地区においては居酒屋など憩いの場がなく、私自身も寂しい思いをしています。公設居酒屋の事例もあると聞いていますが、意欲のある事業者探しをする努力も必要と思っています。

3 介護サービスの在り方

問 小規模多機能型居宅介護施設とまゝるの登録者数について、定員24人に対し概ね15人程度で推移しています。

このことから、要介護者が求める介護サービスと村内で提供する介護サービスに乖離があるのではと推測しますが、村長の考えを伺います。

田中村長

開設当時は20名程度の登録がありました。施設入

所されたりお亡くなりになるなどで減少傾向にあります。要介護者が望む施設になっていないということに關しては、在宅介護を基本としてスタートした施設と認識しています。

また、介護職員の不足も深刻で、指定管理者より現状24人の登録者数を当面18人に減らして施設を運営したいというご相談を受けております。村としても介護を要する方がより使いやすい施設となるよう努力いたします。

4 財政調整基金

問 令和6年度末残高が2億610万円、令和7年度の繰入予定額が1億3,650万円であり、令和7年度末で5,740万円しか残らない計算です。

過去には9億円の残高があったことを考えると大変厳しい状況と言わざるを得ませんが、村長の認識を伺います。

田中村長

一般財源である財政調整基金に依存せず、補助金や

起債等他の財源を確保し、最終決算でいかに基金に戻入れをするかというのが村の財政運営の現状です。財政調整基金がなくなる様々な行政需要に比べられない財政運営となりますので、基金の維持に向け努力してまいります。

5 国民健康保険の運営

問 昨年、村国民健康保険の加入世帯数、被保険者数が3分の1程度減少しました。このことは、村の国保会計を支えていく上で大変厳しい状況にあると思いますが、村長の認識を伺います。

田中村長

令和12年度に北海道統一保険料の適用を控え、村もそれに合わせて財政的な仕掛けを考えていく必要があります。

社会保険制度の変更等により、国保加入者の多くが社会保険に移行している中で、本村の国保世帯が減少しているのは事実であり、既存の国保受益者で国保会計を支えていくのは大変厳

しいと認識していますが、基金等を活用しながら国保会計を維持する努力をしていく必要があると思っています。

小尾 雅彦 議員

1 鳥獣被害防止対策

問 エゾシカ・ヒグマの侵入防止柵について、草地での設置を行い飼料畑での被害軽減を図るということですが、設置費用、面積規模及び設置時期について伺います。

鈴木農林課長

事業費としましては、1,800万円の予算を計上しており、面積にして15ヘクタール分です。

ただし、資材価格の高騰により補助単価については現在検討しているところであり、極力農業者の負担にならないよう配慮したいと考えています。

設置時期は、2番草の収穫に間に合うような時期を想定しています。

教育行政執行方針質疑

主な施策

1 学校教育の充実

- (1) 確かな学力向上の推進
- (2) 豊かな人間性を育む教育の推進
- (3) 学びを支える教育環境の充実
- (4) 義務教育学校・小中一貫校の充実

2 社会教育の充実

- (1) 生涯を通じて学びつづける機会の確保と充実
- (2) スポーツ活動の推進
- (3) 芸術・文化活動の振興
- (4) 社会教育推進基盤の整備

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



藤岡 幸次 議員

1 学校部活動の地域移行

問 村内の学校教育については相当な努力もされ、また結果も出ていると思いますが、学生の体力維持向上、スポーツに触れる機会の確保等で相当ご苦労されていると推測します。

令和7年度における地域移行に向けた具体的な支援策を伺います。

多田教育長

部活動の地域移行については、地域事情の関係からできていないというのが実情でした。令和6年度は中学校の教員が中心になり、軟式テニスの体験などを通じてスポーツに触れる機会を増やそうという動きがありました。教育委員会いたしました。これを部活動の地域移行につなげるため、4月からの地域スポーツ団体の立ち上げに向け取り組んでいく考えです。

2 芸術・文化活動

問 「世代、国籍を超え、

多様な歴史・芸術文化に触れる機会の創設に努める」とありますが、具体的なイメージがあればお聞かせください。

多田教育長

いろいろな国の方に、例えば占冠神楽や太鼓などを見たり参加する機会が提供できるような取組を進めてみたいと考えています。

小林 潤 議員

1 学習支援の充実

問 教育行政執行方針の複数箇所、昨年にはない加配教員という文言が出てきますが、加配教員等を活用しなければならぬ学級状況があるのか伺います。

多田教育長

本村は特に中学校で生徒数が減少し、教員数が減る中にある。兼務や免許外の教科担任をすることで賄っているのが現状でございます。

しかし、受験科目の5教科を優先して配置いただいていることから、技術家庭科を教える教員がおらず、免許外担任の解消のため、

大谷 元江 議員

1 教育環境対策

問 昨年も問題となっていたカラムシ対策について、教育環境に悪影響を与えていると考えますが見解を伺います。

多田教育長

過去に一般質問やコミュニケーションスクール議会で取り上げられており、状況は理解しています。

令和7年度予算で、駆除薬品の購入費用を予算計上しましたが、児童生徒に対する影響を考慮し、なるべく自然由来で安全な物で対策したいと考えています。

2 社会教育施設の有効活用

問 社会教育施設の活用として、郷土資料館を社会教育施設の中に入れることができないか、教育長の考えを伺います。

多田教育長

郷土資料室は教育施設と認識をしていますが、まずは内部の整理を進めつつ、学校にも利用をしていただけるよう整備したいと考えています。

社会教育施設は子どもだけではなく大人にも幅広く使っていたくものであり、利用しやすい環境づくりを心掛けてまいります。

下川 園子 議員

1 スクールカウンセラーとの協働

問 いじめ・不登校等の問題に関する組織的な対応、スクールカウンセラーなどの関係機関との連携に関し、近年は子どもを取り巻く環境が複雑化していて、情緒不安定な子どもが増えていると感じています。児童生徒数の減少から教

員数も減少していますが、スクールカウンセラーとはこれまでが増えて協働していくことを検討されているのか、考えを伺います。

多田教育長

本村でも複雑な問題で先生方も苦慮していると聞いており、養護教員やスクールカウンセラーが一番身近な存在と言えます。

スクールカウンセラーは富良野管内の学校を兼務しているため訪問回数に限られています。村内に専門職員がいらないため、できる限りスクールカウンセラーに対応いただきたいという思いがあり、村の持ち出しはなありますが、訪問回数を増やすようお願いをしているところなんです。

また、養護教員の配置要望に加え、児童福祉担当課、圏域の教育機関とも連携し、相談体制の充実に努めてまいります。

細谷 誠議員

1 学校教育におけるICT機器の効果的な活用

ICT技術は飛躍的に進歩し、現在採用されて

いる学習端末のほか、多様化する生徒のニーズと効果的な活用、興味や関心に応じるためにも、他機種の設定も選択肢に入れてはどうかと考えますが伺います。

多田教育長

本村における機器の更新は令和9年度を予定していますが、北海道における共同購入となることから、部会を作って機種の選定を進めているところです。子どもたちの意見も伺っていますので、より使いやすい機種の選定に向け検討を進めてまいります。

2 体力向上・健康づくりの推進

以前より村民が気軽にウォーキングや散策、クロスカントリースキーなど、1年を通じて健康的でウェルビーイングな環境整備が必要と指摘していますが一向に進んでいません。今後に向けた考えを伺います。

多田教育長

簡素的なものから始めたかと考えていますが、未だ実行できていないことを反省しています。いただいたご意見を参考にしながら、今

年度中には形にしたいと思っています。

木村 一俊議員

1 ICT教育

教育委員会が目指すICT教育の完成形とはどういうものなのか伺います。

多田教育長

GIGAスクール構想に則って環境整備を進めていますが、将来的には紙の教科書がデジタル教科書に変わり、全てが端末の中で完結する時代が来ると思いますが、ICT機器の利点を生かし、他の電子機器等と相互に関連を持たせながら効果的に活用できる形が理想と考えます。

2 授業改革の推進

学力を向上させるための授業革新の推進について、考えを伺います。

多田教育長

毎年実施している学力学習状況調査において、本村の児童生徒は全国平均を大きく上回る結果となっています。各学校で研修や検討

委員会などを通じて授業改革を実践し、評価を行いながら次年度の改革につなげる取組を行っています。

3 芸術・文化活動の振興

本村は他市町村と比較して芸術・文化活動が貧相と感じるが、そこを盛り上げていく方策について伺います。

多田教育長

他市町村の高齢者大学の芸能発表を見る機会がありました。楽しく、種類も多く、生き生きと発表されており、うらやましく感じました。本村の清流大学においても、学生の趣味や特技を生かした芸能活動を展開していきたいと考えています。

4 教育大綱

「第3期占冠村教育大綱を策定した」とありますが、大綱で掲げる教育の果たすべき目標について内容を伺います。

多田教育長

以下の5点を目標として定めています。

- ①生涯にわたり自ら学び続け、これからのふるさとを担う人の育成
- ②豊かな自然とふるさとへの愛着を持ち、お互いの個性と多様性を尊重し、ともに支え合う人の育成
- ③スポーツに親しみ、体を鍛え、心身ともに健康な人の育成
- ④村民としての自覚と責任感、社会性を身につけて、住民の共助による村を築く人の育成
- ⑤歴史と文化を受け継ぎ、平和で持続可能な郷土を創造する人の育成

小尾 雅彦議員

1 社会教育施設の整備

「社会教育施設の維持補修、備品管理に関し、財源が確保できたものから順次交換、改修を進める」とありますが、内容を伺います。

多田教育長

今年度については、財源が確保できたことからコミュニティプラザのテーブルを更新します。



下川委員長

予算特別委員会（下川委員長）を3月12日に開催し、活発な質疑が展開されました。
主な質疑の内容をお知らせします。
（傍聴者0人）

令和7年度予算 40億162万4千円を議決

令和7年度 各会計別予算

会 計 別	予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計	32億6,510万円	16.53%
特 別 会 計	3億7,370万円	▲ 2.99%
国 民 健 康 保 険	1億2,550万円	▲ 10.68%
村 立 診 療 所	8,620万円	3.61%
介 護 保 険	1億1,680万円	0.17%
後 期 高 齢 者	2,200万円	▲ 1.35%
歯 科 診 療 所	2,320万円	2.66%
公 営 企 業 会 計	3億6,282万4,000円	5.26%
簡 易 水 道 事 業 会 計	2億2,478万6,000円	20.95%
公 共 下 水 道 事 業 会 計	1億3,803万8,000円	▲ 13.09%
予 算 総 額	40億162万4,000円	13.30%

一般会計

▼歳入

問 木村委員

法人村民税が前年度比2,800万円の大増減となっているが、村の事業運営に与える影響を伺います。

三浦総務課長

企業の業績で変動するため減額はやむを得ませんが、新たな財源の獲得に向けて努力します。

問 小尾委員

国有資産等所在市町村交付金が前年度比66万9,000円の増額となった理由を伺います。

三浦課長

国有林の台帳価格が上昇したことに由来するものです。

問 小尾委員

森林環境譲与税が前年度比160万2,000円の増額となった理由を伺います。

杉村林業振興室長

税額の積算方法について変更があり、人口割合を5%引き下げ、私有林人工林面積割合を5%引き上げたことによるものです。

問 小尾委員

地方交付税が前年度比1億3,300万円の増額となった理由を伺います。

三浦課長

普通交付税は令和6年度の実績を参考としています。特別交付税は新たに予定されている事業として鹿柵分で1,440万円、地域おこし協力隊関連経費で870万円を上乗せ計上しました。

問 大谷委員

物産館使用料168万1,000円の内容を伺います。

平岡企画商工課長

NEXCO東日本帯広工事事務所に対する使用許可に係る使用料です。

問 小尾委員

立木売却収入の予定数量を伺います。

杉村室長

間伐箇所は4か所で計13.91ha、予定数量は410m³を予定しています。

問 木村委員

木炭売却収入が2万円しか計上されていないが、今

後どのように展開していくのか伺います。

杉村室長

木炭の生産は既に廃止しており、くず炭の売払いに係る予算を計上しました。

問 細谷委員

占冠村むらびと基金繰入金の内容を伺います。

三浦課長

子育てと人づくりの推進に係る事業として、保育所運営費に1,800万円、特別支援教育支援費に800万円を充当します。

問 細谷委員

家畜貸付金収入の内容と件数を伺います。

鈴木農林課長

令和2年度から令和5年度までの貸付分で、3形態、8件です。

問 大谷委員

国道237号湯の沢橋架替工事支障物件補償費130万円の内容を伺います。

平岡課長

湯の沢橋架替工事にあたり、湯の沢温泉の看板が工事の支障となるため、撤去

設置に対する費用の補償を受けるものです。

▼歳出

総務費

問 小尾委員

富良野広域連合負担金の内訳を伺います。

三浦課長

管理費463万円、環境衛生センター分2,474万円、串内牧場分2,054万円、消防分1億6,684万円、学校給食センター分2,487万円の合計額から、広域事業の推進負担金241万円を減じ、差引2億3,921万円が村負担額となります。

問 細谷委員

占冠村むらびと基金積立金の内容を伺います。

三浦課長

ふるさと寄附金の一部をむらびと基金に積み立てており、寄附金収入の伸びに伴い増額するものです。

問 木村委員

ふるさと納税管理業務委託料の内容を伺います。

平岡課長

直営で行っていたポータ

ルサイトの運用、返礼品の受注発注等を外部委託し、効率的かつ効果的に取り組むものです。

問 木村委員

住民活動推進事業補助金が大幅に減額されています。地域協働の取組を重点目標とする方針と矛盾していますが、見解を伺います。

平岡課長

過去の事業実績を精査するとともに、一部事業を別予算に振り替えたことにより、減額計上としました。



宮下ボランティア会による草刈り作業

問 小尾委員

トマム地区公園整備工事100万円について、今年度の工事内容を伺います。

石坂トマム支所長

令和7年度の工事内容は未定ですが、今後、地域住民とのワークショップ等を

通じて内容を決定し、必要があれば補正予算での対応を検討します。

問 大谷委員

防災行政無線の整備時期を伺います。

三浦課長

整備自体は短期間で終了しますが、資材調達に時間を要する可能性があるため、できるだけ早期の発注に努めます。

問 細谷委員

地方公共団体情報システム標準化・共通化の内容を説明願います。

伊藤住民課長

令和7年度においてガバメントクラウドを利用した標準化・共通化の本格稼働を行うため、データ移行や環境設定を行うものです。

民生費

問 木村委員

小規模多機能型居宅介護施設の登録者数が減少しているにもかかわらず、指定管理料が増額となっている理由を説明願います。

岡崎福祉子育て支援課長

指定管理料の多くを人件

費が占めており、昨今の人件費の高騰も要因となっています。利用者は減少傾向にありますが、介護サービスを提供できる体制を維持するためにも職員の減員は考えていません。

問 大谷委員

小規模多機能型居宅介護施設の温熱設備整備工事の内容と、利用者に対する影響の有無を確認します。

岡崎課長

ヒートポンプの老朽化により、大規模なメンテナンスを行います。冷暖房に関する設備であり、暑い時期、寒い時期を避けて実施する予定です。

問 大谷委員

子育てレスパイトケア事業の内容を伺います。

岡崎課長

子育て中の保護者の心身の負担軽減を図るため、一時的にお子さんを預かる事業です。

衛生費

問 細谷委員

簡易水道会計、診療所会計、歯科診療所会計への繰

出金が大幅な増額となった理由を伺います。

伊藤課長

診療所会計は人件費の増額とトマム診療所の修繕、歯科診療所は診療報酬収入の減少及び人件費の増額が主な要因です。

小林建設課長

簡易水道会計につきましては、新たな委託業務を1,160万円計上したことにより繰出金を増額計上しました。

問 大谷委員

粗大ごみ収集運搬・破砕処理委託料の予算額が昨年度の実績より少ない額ですが、処分量が減る見込みなのか伺います。

小林課長

ごみの排出量が見込めなかったため前年度並みの計上となりましたが、予算が不足する可能性がありますので、削減に向け引き続き努力します。

農林業費

問 小尾委員

人工造林（新植）工事の事業内容を伺います。

杉村室長

4基盤、4.12haでカラマツ5,920本、イタヤカエデ800本、アカエゾマツ1,960本の植栽を予定しています。

問 小尾委員

黒瀬の沢小規模治山工事の内容を伺います。

杉村室長

荒廃林地を復旧整備し、林地の崩壊や地滑りによる災害の発生を予防することを目的に行うものです。現地は保安林でないため、北海道の補助金を活用して村が事業主体となって実施します。

商工費

問 小尾委員

協働型地域おこし協力隊受入業務委託料の内容を伺います。

平岡課長

観光協会と受入れに関する委託契約を結び、地域協力活動を進めていくこととしております。雇用形態が村との雇用契約から観光協会との雇用契約に変わり、勤務シフト、時間外勤務命令などの事務手続等、協力

隊としての活動がスムーズになると思われます。

問 細谷委員

ふるさとまつり運営補助金が前年度から半減している理由を伺います。

平岡課長

昨年は第50回の節目の開催ということで、北海道地域づくり交付金を活用し盛大なお祭りを企画したため、実行委員会の資金繰りの都合上、村が多額の補助金を支出する必要がありました。今年度は通常開催となるため補助金を減額しました。

土木費

問 小林委員

橋梁維持費で計上された調査測量設計委託料の内容を伺います。

小林課長

村道橋梁において、PCBが含有された塗料の有無を調査するものです。対象7橋のうち5橋分の計上ですが、PCBの含有が確認されれば令和8年度末までに塗料の処理を行う必要があります。

問 藤岡委員

橋梁4本の補修工事の事業期間及び工期を伺います。

小林課長

占川橋、林友橋は令和7年度で終了予定です。東5線橋、11号橋につきましては、令和7年度、令和8年度での事業で予定しています。工期については、いずれの橋も渇水期の施工が条件となっているため、11月上旬以降の着工を予定しています。

問 大谷委員

道路維持費の修繕料1,102万5,000円、住宅管理費修繕料1,414万7,000円の内容を伺います。

小林課長

道路維持費では、主に除雪トラックやタイヤショベルの修繕、村道の補修に係る費用、住宅管理費では、退去後の村営住宅の修繕に係る費用を見込んでいます。

問 藤岡委員

第2トマム団地の火災に伴う建替工事費として4,510万円が計上されています。

ますが、建物規模からするとかなり高額と感じます。内容について伺います。

小林課長

既存建築物の復元工事ですが、人件費や資材費の高騰により工事費の高騰が予想されることから、予算額は余裕を持って計上させていただきました。

教育費

問 藤岡委員

避難所（占冠中学校）設備改善事業におけるトイレの改修にあたっては、下水道に接続する排水管の改修も併せて行うのか伺います。

木村教育次長

屋外排水改修も含んでいます。下水道に接続する排水管の勾配問題を解消する



学校に設置されたエアコン

ため、排水ポンプ設置する予定です。

問 小尾委員

各学校へのエアコン設置により電気料金の増大が予想されますが、エアコンの使用に際し何らかのルールを設ける考えはあるのか伺います。

木村次長

熱中症のリスクが高まる時期には適切な温度管理が求められており、快適さと健康安全性、省エネルギーに留意しながら使用していただきたいと考えています。

問 小林委員

コミュニケーションプラザの機の更新について内容を伺います。

木村次長

北海道備荒資金組合の譲渡事業を活用するものであり、組合が机を購入し、その後村が譲渡を受け、その代金として利息を付して5年間で償還する事業です。令和11年度までの債務負担行為を設定し、利子を含めた総額は358万3,000円となります。

国民健康保険特別会計

問 細谷委員

国民健康保険税において、資産割を廃止することによる効果を伺います。

伊藤課長

保険税水準の統一が行われる令和12年度には、北海道内どこに住んでも同じ所得水準、同じ世帯構成であれば、同じ保険税水準となります。

問 細谷委員

加入世帯、被保険者数の減少に伴い保険税収入が大幅に減少し、今後の国保運営に様々な問題が発生することが予想されますが、見解を伺います。

伊藤課長

被保険者数の減少により保険税収入は減少しますが、医療給付に係る納付金の減少も予想されます。先行きが不透明であり、注視する必要があります。

問 細谷委員

保険税率の引き上げにより収納率の低下が危惧されますが、対応を伺います。

伊藤課長

納税困難者に対する納税相談を強化するとともに、広報等により口座振替や電子納税の周知を行うなど、収納率の向上に努めます。

問 小尾委員

特定健診受診率向上支援事業が継続して取り組まれています。令和6年度の分析結果及び事業効果等を教えてください。

伊藤課長

受診率は令和3年度56.6%、令和4年度54.8%、令和5年度55.8%、令和6年度は現時点で57.7%と上昇傾向ではありますが、北海道が目標とする70%には程遠い状況です。

村立診療所特別会計

問 細谷委員

診療報酬収入において、占冠診療所を減額、トマム診療所を増額とした理由を伺います。

伊藤課長

前年度実績を勘案して算出しており、占冠診療所は若干の減額、トマム診療所はリゾート従業員等の利用で増額を見込んでいます。

問 小尾委員

諸検査収入の増額理由を伺います。

伊藤課長

占冠診療所は新型コロナウイルスワクチン接種や带状疱疹のワクチン接種、トマム診療所は事業主健診等を見込み、それぞれ増額計上しました。

介護保険特別会計

問 細谷委員

居宅介護サービス等給付費が増額、施設介護サービス等給付費が減額となっていますが、これは訪問介護サービスの利用が増え、とまるとの利用が減少していると考えてよろしいですか。

岡崎課長

居宅介護分の増額は、住所地特例適用者の村外での訪問、通所等に関するサービスの給付が増加傾向にあるとともに、介護度の上昇も要因と考えています。施設介護分の減額は、特養や老健施設の入所者数の減少によります。

歯科診療所特別会計

問 細谷委員

診療報酬収入が前年度比

で2割減少していますが、受診者数の減少に対処、対応した予算立てができなかったのか伺います。

伊藤課長

受診者数の増加は難しい状況ですが、住民の健康管理の上で口腔ケアは重要な位置付けであり、歯科健診を呼び掛けながら受診につなげてまいります。

問 小尾委員

トマム地区の患者を占冠歯科に送迎するための委託料が9万4,000円計上されていますが、月額7,800円と少額ですが不足はしませんか。

伊藤課長

当初は月2回×12か月で積算しましたが、その後の検討において、回数を制限しないで利用いただけるよう方針を変更したため、不足が生じた場合は補正予算等の措置を講じてまいります。

簡易水道事業会計

問 細谷委員

年間給水量71万m³、1日平均給水量1,945m³とありますが、令和6年度の同項目と差異がある理由

を伺います。

小林課長

この数値は過去3か年分の実績値の平均値を用いているため、年度により差が生じるようになります。

問 細谷委員

占冠村中央地区水道施設基本計画作成委託の内容を伺います。

また、耐震化に向けた配慮がなされるのか併せて伺います。

小林課長

占冠浄水場及び取水施設の老朽化に伴い、今後の施設更新に向けた計画を立てるものです。耐震化については当然配慮すべきものと考えています。

公共下水道事業会計

問 細谷委員

下水道台帳保守管理委託料が前年度比で大幅増となった理由を伺います。

小林課長

過去5年間に新たに設置された公共枡のデータを台帳に追加するにあたり、併せて台帳機能に新たに維持管理情報の機能を追加するものです。



きむら 木村 一俊 議員

▶物価高に対する支援策は

▶村の農業振興策の現状と今後

▶村における地域公共交通の問題点

1 物価高に対する支援策は

問 物価高騰が止まりません。対象を拡大しての援助策を考慮していかねければならないと考えます。村長の考えを伺います。

田中村長

令和7年度においても、年2回のプレミアム商品券事業を継続したいと考えています。

2 村の農業振興策の現状と今後

問 酪農・肉用牛生産を柱とする農業の状況を見るならば、高齢化や後継者不足により、継続が進まず、衰退の状態にあると感じます。「占冠村酪農・肉用牛生産近代化計画」における肉用牛総頭数を見れば平成30年度の417頭が令和6年2月の時点では276頭と当初頭数を大きく下回る状態です。農業の現状をどの様に見ているのかを伺います。

田中村長

「占冠村酪農・肉用牛生

産近代化計画」においての主要規模拡大目標頭数については、達成は難しい状況にあります。酪農畜産経営体の支援を継続していきます。

問 占冠村新規就農者等支援対策事業実施要綱の年齢要件は「概ね60歳未満」です。会社を中途で辞めた方、

定年退職の方、農地が少ない村で多様性を重視して新規就農を支援する施策を進めるべきと思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長

多様性を重視した新規就農も今後の課題と考えています。50代後半の新規就農者にも2戸の実績があり、優良繁殖牛導入のための資金貸付などを実施しています。

問 「ゆり根」は冷涼な気

候を好み、市場価格が高値で取引され、少ない農地で収益を上げることができ、村にふさわしい商品作物と考えます。「ゆり根」栽培の農家を中心に行政も協力

して更なる進展を図る考えはあるのか伺います。

田中村長

ふるさと納税の返礼品としても協力いただいております。引き続き就農が継続するように支援していきます。

3 村における地域公共交通の問題点

問 J R石勝線トマム駅は暖房設備もなく非常に寒い、また駅内トイレも使用できず屋外の仮設トイレを利用している状態です。リゾートを標榜するトマムの玄関口がこのような状況である事に関し村長の考えを伺います。

田中村長

改善の必要は感じていますが、改善に向けて努力してまいります。

問 南富良野町営バスを利用する70歳以上のトマム住民の方と村営バスを利用する中央の料金体系に不均衡

があります。この点につき村長の考えを伺います。

問 村のハイヤーの営業エリアがトマム地区を網羅できていないので、住民の足の確保についてライドシェア等の導入も考えるべきと思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長

安全性の確保、利用者保護等の観点からライドシェアの導入については考えていません。



トマム駅構内の仮設トイレ

田中村長

地域特性を踏まえた上で決めていますので当面は現状で運行したいと考えています。

▶旭川十勝高規格道路と一般国道改修要望

▶村有林の二酸化炭素吸収量販売

▶村の森林振興と今後の対策

お び まさひこ
小 尾 雅彦 議員

改修が望まれる金山トンネル

1 旭川十勝高規格道路と一般国道改修要望

問 旭川十勝高規格道路建設に際して、中富良野～上富良野区間に、建設アンケートが沿線住民に対して実施されました。本村も道東自動車道に接続する重要な路線ですが、一向に計画路線からの進展がありません。今後の方向性や村の考えを村長に伺います。

田中村長

旭川十勝道路の整備は、平成30年11月に富良野道路、北の峰インターから布部インター、令和4年3月に旭川東神楽道路の供用が

開始されました。全線開通に向けた機運の醸成を高めるため、民間団体でつくる高規格道路建設促進富良野期成会と共催し、毎年、上川中南部の未来につながる道づくりフォーラムも行われています。

現在、富良野～中富良野間が建設中であり、中富良野～上富良野間が令和5年によりやく計画段階評価を進めるための調査段階に入りました。

問 一般国道237号線の改修が要されています。金山峠のトンネルは幅員が狭く、事故も多いことから村長に考えを伺います。

田中村長

国道237号改修の必要性を強く感じており、上川地方総合開発期成会を通じて、国や道内関係機関に対して要望活動を実施しています。金山峠付近の急カーブ解消、金山トンネル改修、千歳橋歩道拡幅整備を期成会を通じて要望を行っています。

2 村有林の二酸化炭素吸収量販売

問 先進自治体として、下川町、南富良野町でも国が認証する環境価値であるJクレジットを企業等に販売する取組を進めています。が、村も考えてはいかがか伺います。

田中村長

通信系の企業より村の森林経営計画に基づく提案があり、概算設計が示されました。収支予想は8カ年計画が前提で終了後の9年目にクレジットが付与される計画です。様々な判断材料が必要であり、今後、検討し適切な時期に判断します。

3 村の森林振興と今後の対策

問 村の基幹産業である林業振興について、礎を築いてきた室長が3月末で退職されます。今後の対応策を伺います。

田中村長

林業を基幹産業と位置づ

ける本村にとって人材の確保は重要事項ですので、引き続き努力してまいります。

問 村の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略構想で4つの基本目標をうたい林業就労者の定住化を項目立てていますが、充実した内容とはなっていないため、今後の対応策を伺います。

田中村長

道内自治体例規を調べたところ、新規林業就労者に対して住宅補助等の支援を行っている例がなく、先進的な取り組みと考えています。

問 新年度から木質バイオマス生産組合の組織が再編されますが、これまでと同様な事業支援による運営となるのか伺います。

田中村長

一般社団法人占冠村木質バイオマス生産組合は解散して、村外の林業事業体が継続する方向で協議をするかと聞いております。



おおたに もとえ 議員
大谷 元江

▶村内の公園整備

1 村内の公園整備

問 休眠状態にある運動公園の利用について、高学年から大人達が利用できる公園にできないのか伺います。

田中村長

利用されていない施設が何か所かあります。運動公園全体の利用方法を議論していく中で、本村が実施できる最善の方法等を検討してまいります。

問 道の駅隣接の旧農協倉庫の有効活用を提言します。道の駅周辺整備計画を進めるにあたって、トイレタイムだけの通過型から、全天候型で利用できる旧農協倉庫を滞在型の設備に整備すべきと考えますが、村長に伺います。

田中村長

旧農協倉庫は現在



旧農協倉庫

イベント等に使用される物の保管庫として利用しておりますが、設計測量をしていただきながら中身を検討し、利用向上のために議論を深めてまいりたいと考えています。

また地方創生の中で、国土交通省の道の駅改修事業を含めて検討してまいります。

令和7年第1回富良野広域連合議会定例会報告

令和7年第1回富良野広域連合議会定例会が2月12日(水)に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算案及び新年度予算案、条例案が原案のとおり可決されました。

可決・認定された案件は次のとおりです。

※予算 ○令和6年度富良野広域連合一般会計補正予算(第4号～第7号) 歳入歳出それぞれ175万9,000円を減額
総額 25億4,856万7,000円(第3号)⇒25億4,680万8,000円(第7号)

令和7年度富良野広域連合一般会計予算(概要)

単位:千円

歳入区分	予算額	前年度比	歳出区分	予算額	前年度比
分担金及び負担金	2,142,676	△ 79,341	議会費	3,551	△ 295
使用料及び手数料	36,364	△ 1,238	総務費	50,650	1,169
財産収入	3,117	40	衛生費	271,862	△ 22,446
寄附金	1	0	農林業費	80,089	3,669
繰越金	1	0	消防費	1,458,749	62,269
諸収入	236,854	11,799	教育費	582,535	4,215
連合債	71,100	67,400	公債費	58,161	△ 49,404
国庫支出金	18,484	517	予備費	3,000	0
歳入合計	2,508,597	△ 823	歳出合計	2,508,597	△ 823

※条例の改正 ○富良野広域連合個人情報の保護に関する法律施行条例の一部改正
○富良野広域連合公共申内牧場の設置及び管理に関する条例の一部改正
○富良野広域連合議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

※その他会議に付した案件 ○監査委員報告:例月出納検査結果報告(令和6年度9月分～12月分)、令和6年度定期監査報告



しもかわ 園子 議員

▶診療所と歯科診療所の運営体制

1 村内の診療所と歯科診療所の診療日数の格差

問 近年の村内の人口比率から考えると、現在の診療日数には地域格差があると考ええます。運営は全体的に均等にしていくべきと考えますが、村長の考えを伺います。

田中村長

本村においては、医師をはじめとする医療従事者の確保や、施設整備を進め、住民の皆さんが安心してこの村で生活できるよう将来にわたり持続可能な医療供給体制の維持に努めてきたところです。

問 両診療所における受診者数の状況を見ると、高齢化率や受診比率など一次医療を必要とする年齢構成や、受診理由等により受診者数に違いがあると考えています。あらゆる角度から検討しながら、これらの格差解消に努めたいと思っております。

問 診療所ではコロナ禍以降、発熱外来ができ現在も

継続中であると認識していますが、患者の利便性を考えると両診療所の体制の見直しを図っても良い時期なのではないかと考えますが村長の考えを伺います。

田中村長

診療体制においては、高齢者、慢性疾患の受診が多いため、風邪症状の患者様との接触機会を避けるため、時間、場所を分けて診察しています。混在させるのは良くないと言われてます。実態を調査しながら内部でも検討し、住民の皆さんにもお知らせしますので、改めて内容を検討させていただきます。



発熱外来用プレハブ（占冠診療所）

せていただきたいと思います。お待ちしております。

問 トマム歯科診療所においては新年度に向けて占冠歯科診療所への送迎を計画しているとのことですが、計画についての進捗状況を伺います。

田中村長

トマム地区住民を対象として、占冠村歯科診療所での受診を希望される方へ行います。また委託業者はファミリーサポートセンター占冠を予定しており、試行的に実施し、状況を見て送迎方法等の検討をしたいと考えております。基本的には歯科診療所の予約に合わせ、送迎希望ということを歯科診療所に伝えれば、歯科診療所から役場に連絡が入り、対応することによって進めております。

診療所・歯科診療所の比較（占冠・トマム）

	診療所		歯科診療所	
	占冠診療所	トマム診療所	占冠歯科診療所	トマム歯科診療所
診療日	火・金 木(午後一般診療休診)	月・水	月・火・木・金 水(隔週)	隔週 水
診療時間	9:00～11:30 13:30～14:30 15:00～16:30(発熱外来)	9:00～11:30 13:30～16:30(発熱外来)	9:00～11:00 14:00～18:30	9:00～11:30 13:30～17:00
受診者数(1日あたり)※	14.3人	4.8人	4.3人	2.4人
開所日数※	109.5日	84日	177日	40日
延べ患者数※	1,564人	400人	760人	94人

※令和5年度の実績



ふじおか よしつぐ
藤岡 幸次 議員

▶三方良しの、地域おこし協力隊活動

▶ついに1億円を超えたふるさと納税

▶森林環境譲与税、今後の活用取組

▶教育振興策

1 地域おこし協力隊で 村内活性化

問 地域おこし協力隊の導入されてからの受け入れ、定着・定住の実績と拡大活性化策について伺います。

田中村長

本村の受け入れ22名中、活動中の隊員を含め11名の方が定住しており、50パーセントの定着率となっています。定住者は農業をはじめ、新規起業など各分野で活躍中であり、令和7年度も3名の受け入れに向け準備中です。

今後に向けて、地域おこし協力隊良し、活動地域良し、各団体良しの、三方良しの関係構築にしっかり取り組めます。

2 魅力ある返礼品で、ふるさと納税と冠応援団獲得

問 ふるさと納税の年度見込みと、返礼品の取り組み状況、また、企業版ふるさと納税の見込みについて伺います。

田中村長

2月末の寄付額が昨年度実績を超えたことから、

ふるさと納税返礼品「占冠村産はちみつ」



1億円を超える補正を考えています。また、返礼品の取組として、新たな品目の導入を検討しています。

企業版ふるさと納税の実績は、4件140万円と昨年度を下回りましたが、引き続き占冠応援団の獲得に向けて取り組んでまいります。

3 森林環境譲与税の活用促進

問 森林環境譲与税の活用状況と課題について、また、今後に向けて、条例改正を含めた推進策は検討されているのか伺います。

田中村長

活用事業として、民有林整備事業、担い手対策関連事業、木質バイオマス利用促進関連の3種となります。活用割合は、令和6年度は47%となっています。また、今年度より薪の生産体制が新体制となることから、そちらでの活用も見込まれています。

今後に向けては、森林環境譲与税の現状から、計画を確実に前に進め、継続性をもって取り組む考えです。

4 教育振興策

問 本村における児童生徒数の減少とそれに伴う教職員減少の状況で、学校教育の推進振興策について伺います。

多田教育長

児童生徒数の減少、それに伴う教職員定数減は深刻な問題と受け止めています。

対応として、小規模校加配措置、時間帯教員の採用、学習支援要員の雇用継続、専門教科指導人材の確保に

加えて、遠隔授業の実施についても取り進めて行きます。

問 学校給食無償化を国に先駆けて取り組むことが必要と考えます。また、その際の費用見積もりについて伺います。

多田教育長

費用見積もりについては、概ね300万円程度と考えます。無償化実施については、国における制度化の議論を注視してまいります。

問 本村における奨学金貸与の現状と課題、また、無償型の奨学金制度について取り組む考えはありますか。

多田教育長

奨学金貸与の現状として、令和7年2月現在59件1億857万円の実績、滞納繰越4件44万4千800円となっています。現状を踏まえ、現制度の内容を再検討する時期が来ていると認識しており、返還免除型、返還支援型などの制度化に向けて検討したいと考えています。

議 員 の 主 な う ご き

令和6年第5回占冠村議会
定例会(12月13日)以降



- 12月12日～13日 令和6年第5回占冠村議会定例会(全議員)
議会広報特別委員会(各委員)
 - 23日 富良野沿線市町村議会議長会定例(秋期)議長会議
(村内一議長・副議長)
 - 1月 5日 令和7年占冠消防出初式(各議員)
 - 11日 令和7年度占冠村二十歳を祝うつどい(議長・副議長)
 - 14日 議会広報特別委員会(各委員)
 - 15日～16日 富良野沿線市町村議会議長会視察研修(鹿追町・帯広市一副議長)
 - 22日 議会広報特別委員会(各委員)
 - 22日～23日 上川町村議会議長会役員会(旭川市一議長)
 - 30日 令和6年度富良野地域人材開発センター連絡会議
(富良野市一議長・副議長)
 - 令和6年度富良野沿線市町村長・正副議会議長合同会議
(富良野市一議長・副議長)
 - 2月4日～5日 上川町村議会議長会定期総会及び行政懇談会(旭川市一議長)
 - 7日 道北地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会北海道
立北の森づくり専門学院視察(旭川市一各林活議連議員)
 - 10日 上川教育研修センター組合議会令和7年第1回定例会(旭川市一議長)
 - 16日 本間勲氏「旭日中綬章」の受章を祝う会(富良野市一議長)
 - 20日 議会運営委員会(全委員)
全員協議会(全議員)
 - 25日 全員協議会(全議員)
 - 26日 議会運営委員会(全委員)
 - 3月 2日 令和6年度村民スキー大会(議長)
 - 5日 上富良野駐屯地幹部異動に伴う送別会(上富良野町一議長)
- 【富良野広域連合議会関係】
- 2月 5日 富良野広域連合議会運営委員会(富良野市一広域連合議員)
 - 富良野広域連合議会全員協議会(富良野市一広域連合議員)
 - 12日 富良野広域連合議会令和7年第1回定例会(富良野市一広域連合議員)

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。
傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター
(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の
予定

6月定例会 → 6月23日(月)・25日(水)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

編集後記



3月定例会は村政執行方針、教育行政執行方針に対して各議員からの質疑が行われ、深く議論する事ができたと思います。

また令和7年度一般会計及び各特別会計予算は総額40億162万円と前年度と比較すると4億6,970万円増と大型の予算案が可決されました。予算特別委員会では予算に盛り込まれた事業の背景、提案に至る経緯など慎重に検討され、熱心な質疑が行われました。

令和8年4月からの宿泊税導入にむけた準備が進められます。主な目的は地域経済と観光振興、環境整備、治安の維持、観光資源の魅力向上などがあります。

少子・高齢化、担い手不足は全国的な課題となつていますが、持続可能な社会に向け、村民の皆様から求められる様々な課題解決に向け、行政はもちろん、議会、村民が一体となつて課題解決を目指し、村民サービスの向上に努め、村民の村政参画を促進するため、「興味をそそる、読みやすい」議会広報誌の改革や活発な議会活動を村民の皆様にお伝えしていきたいと考えています。

別れ、新たな出会い、期待と希望にふくらむ大きなランドセルを見てみると、課題は多くありますが、村民の皆様が報われる持続可能な地域社会を目指し努力してまいります。

▼議会広報特別委員会(前期)

委員長 大谷 元
副委員長 木村 一
委員 細谷 園
委員 下川 子
委員 誠 俊

広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。